文化財を巡る~20

豊岡の文化財を紹介します。皆 さんの身近にある文化財を見てい きましょう。

《問合せ》文化振興課☎23-1160

## 「城崎・竹野の文化財 | ・・

この歴史探訪~文化財を巡る~シリーズも、残すところ5回になりました。

そこで、今回からは、今まで取り上げてきた文化財を地域ごとにまとめていきます。中には未紹 介や未指定の文化財もありますが、地域の特徴を見ていく上で欠くことのできないものは取り上げ ています。

## 城崎地域を巡る

歴史を感じさせる風情の残る城崎温泉街は、昭和初期に新た につくられた町であることをご存じでしょうか。大正14年5月



▲温泉寺宝篋印塔と温泉寺 多寶塔(市指定建造物)

に起きた北但大震災で、城崎は壊滅状 態でした。その復興に際して温泉街 を大正ロマン薫る街として整備する ため、温泉街の中央を流れる大谿川を 拡幅し、川護岸に地震で崩れた玄武洞▲王橋と柳と一の湯



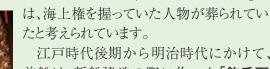
から運んだ玄武岩を積み上げ、王橋や弓形橋群を架けました。併せて道路も 広げ、震災前からの三階建て木造旅館を復元し、火災に弱い木造家屋の所々 に鉄筋で造った外湯や、町役場・警察署・郵便局などの公共施設を配置して、 防火帯の役目を持たせました。

奇跡的に震災の被害を受けなかった温泉寺には、古くから温泉街を守る 寺院として「温泉寺本堂」をはじめ、「木造千手観音像」や「木造十一面観音 像 | 、「絹本著色十六善神像 | (国指定絵画)、「温泉寺宝篋印塔 | (国指定建造 物)など数多くの文化財が大切に保存されています。

## 竹野地域を巡る

町の中央を流れる竹野川とその支流の流域に、また日本海沿 岸に文化財が多くあります。特に、海岸部の文化財は「切浜のは さかり岩」、「波食甌穴群」、「宇自流紋岩の流理」など、日本海の荒 海によって形作られた奇観・奇岩が見られ、山陰海岸国立公園や ジオパークの見どころの一つともなっています。

また、日本海を見下ろす断崖の上に造られた「ヨゴレババ古墳群」に





▲日本海と断崖上のヨゴレババ古墳群

江戸時代後期から明治時代にかけて、日本海の行き来で利益を得ていた北 前船は、新船建造の際に作った「**飾千石船**」で航海を祝い、安全祈願のために 絵馬などを鷹野神社「**鷹野神社海上信仰資料**」や興長寺熊野堂「**興長寺熊野堂** 海上信仰資料」(ともに市指定有形民俗文化財)として奉納しています。

竹野川中流域では、中世に勢力を持った山名氏が、月庵宗光(「絹本淡彩月 **庵宗光像**」県指定絵画)を迎えて円通寺を開山し、それまでにあった寺院も庇 護しました。轟にある蓮華寺には**「絹本著色大日如来像」「絹本著色愛染明王** 像」(ともに県指定絵画)や**「木造聖観音菩薩立像」「木造十一面観音菩薩立像」** (ともに市指定彫刻)など、数多くの文化財が大切に保存されています。また、 「轟の太鼓踊り」や「轟大神楽」などの伝統芸能も、この寺を中心に伝承されて います。



▲木造十一面観音菩薩立 像(蓮華寺)